

平成26年度 再評価対象事業一覧表(第3回)

事業種別	事業計画							再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)		
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	
						着工	完了			前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H26年度事業費	H27年度以降事業費				B/C				分析基礎の要因の変化
						上段:当初※1	下段:変更			(億円)	(%)	(%)※2	(億円)	(億円)								
水対-1 (個別)	南島原市 公共下水道事業	南有馬処理区	市	南島原市	(当初) 計画区域 118ha 計画人口 4,500人 計画汚水量(日最大量) 2,200m3/日	H14	H28	55.7	28.5	88.5	100 (100)	1.0	2.7	長崎県汚水処理構想2012 南島原市総合計画(生活排水の処理) 浄化槽設置整備事業	当処理区について、人口減少が続いている。 平成25年度に今後の整備予定区域を対象として説明会を行いアンケート調査を実施した結果47%程度の接続率となる見込みである。(下水道整備を希望する人 約47%:アンケート調査結果)	公共下水道事業に対する関心については、後継者がいない高齢層が増えおり下水道整備を望む声が少なくなっている。	1.55	0.91	・事業費の増 ・完了年度の遅延 ・下水道整備区域の縮小見直し	接続見込及び事業費等を検討し、下水道未整備区域については合併浄化槽区域に変更する。	-	見直し継続
					(今回) 計画区域 57ha 計画人口 1,500人 計画汚水量(日最大量) 800m3/日	H14	H30	32.2														
水対-2 (個別)	五島市 公共下水道事業	福江処理区	市	五島市	(前回) 計画区域 約591ha 計画人口 17,000人 計画汚水量(日最大) 9,300m3/日	H17	H54	206.5	0.00	0.0	0.0 (0.0)	0.0	30.0	長崎県汚水処理構想2012 五島市総合計画(生活排水処理対策の推進) 浄化槽設置整備事業(H16~継続中)	H24に実施した受益者アンケート調査により接続見込が低迷との結果を受け計画区域及び事業費等を再検討することとなった。 中心市街地の周りで合併浄化槽の普及が進んできたが、市街地の単独浄化槽と汲み取りの改良は進んでいない。	アンケート調査では、事業費130億円と当初計画に近い説明で行われ、大型事業への批判もあり、接続見込みは3割程度であったが、今年4月に行った街中意見交換会では計画範囲の規模縮小及び近隣河川の現状を説明し、下水道への気運は高まっている。	1.38	1.46	計画範囲を中心市街地に規模縮小することにより、建設費及び集水の有効率化。	福江市街地中心部においてはS37年大火後の区画整理後、建物の下に単独浄化槽を設置しており個別処理の合併浄化槽を新たに設置する空地が無いなど対応困難な要因が多く、下水道等集合処理の手法は変えられない。 そこで範囲を中心部に絞り、国が社会情勢の変化を勘案して検証実験等を行っている下水道クイックプロジェクト事業やコストキャップ型下水道など、低コスト新技術工法を導入した計画書を策定する。	H21	見直し継続
					(今回) 計画区域 約100ha 計画人口 1,800人 計画汚水量(日最大) 954m3/日	H17	H34	30.0														
道建-1 (個別)	道路改築事業	一般県道諫早外環状線 諫早インター工区	県	諫早市	延長L=4,300m 幅員W=7.0(12.0)m	H20	H27	169.0	104.8	49.4	80 (88)	36.4	70.8	○国道251号 ・吾妻愛野バイパス(H23~) ・出平有明バイパス(H25~) ○県道諫早外環状線 ・長野~栗面工区(H23~) ○長崎県総合計画「地域づくりを支えるネットワークをつくる」の主要事業	全体事業費の増及び完了年度の遅延	「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」から整備促進の要望が行われている。	1.30	1.08	全体事業費の増及び完了年度の遅延によるもの	・掘削土を他工区に流用することで、捨土費用の削減を行うなど、可能な限りコスト削減を図る。 ・代替案の可能性はない	H24	継続
						H20	H29	212.0														
港湾-2 (個別)	松浦港廃棄物海面処分場整備事業	廃棄物埋立護岸	県	松浦市	廃棄物埋立護岸L=430m	H13	H24	20.4	18.1	89.0		0.8	1.5	松浦市総合計画の中で「産業発展を実現するための基盤整備の推進」として位置づけられている。	再評価時に見込んでいた浚渫土砂が減少し、埋立の進捗が遅れたことで、埋立地内の水路工事が実施できなかったため工期が延びた。	埋立後の用地活用について、松浦市を中心に「松浦港埋立後の用地活用並びに御厨・星鹿地域振興に関する協議会(準備会)」が開かれるなど、早期完成が望まれている	1.16	1.05	近傍地価の下落。	残土搬出側との事業間連携により、早期に埋立を完了させる等、事業の効率化に努める。代替案の可能性はない。	H22	継続
						H13	H28	20.4														

※1 2回目以降の再評価の場合、「当初」は「前回」と置き換えている。
 ※2 用地進捗率の上段は「予算ベース」、下段()書きは「契約ベース」である。